

公開用概要書

【製造会社情報】

*: 入力必須項目

メーカー名(*)	株式会社IHI汎用ボイラ
本社所在地(*)	東京都江東区深川2丁目8番19号(さくらビル)5階
製品名(*)	廃食油焚ボイラシステム
型番	K-1000TY
会社WEBページURL	http://www.ibk-ihl.co.jp
製品紹介ページURL	http://www.ibk-ihl.co.jp/products/boiler/k-series/waste-cooking_oil/index.html

【製品についてのお問い合わせ先】

連絡先(*)	株式会社IHI汎用ボイラ 営業企画推進部 部長 栗野 弘敏 東京都江東区深川2丁目8番19号 さくらビル 5階 TEL 03-5245-3130
--------	--

【登録設備情報】

導入可能な業種・分野(複数回答可)(*)	食品加工業	製油業	
省エネ化の対象となる分野・プロセス(*)	蒸気発生プロセス		
1工場・事業場当たりの想定省エネ率(*)		35.0	%
1台又は1式当たりの想定導入価格(参考)(*)		20,000,000	円
(必要な場合)保守・メンテナンス等の年間ランニング費用		1,000,000	円/年

製品・システムの概要(*)

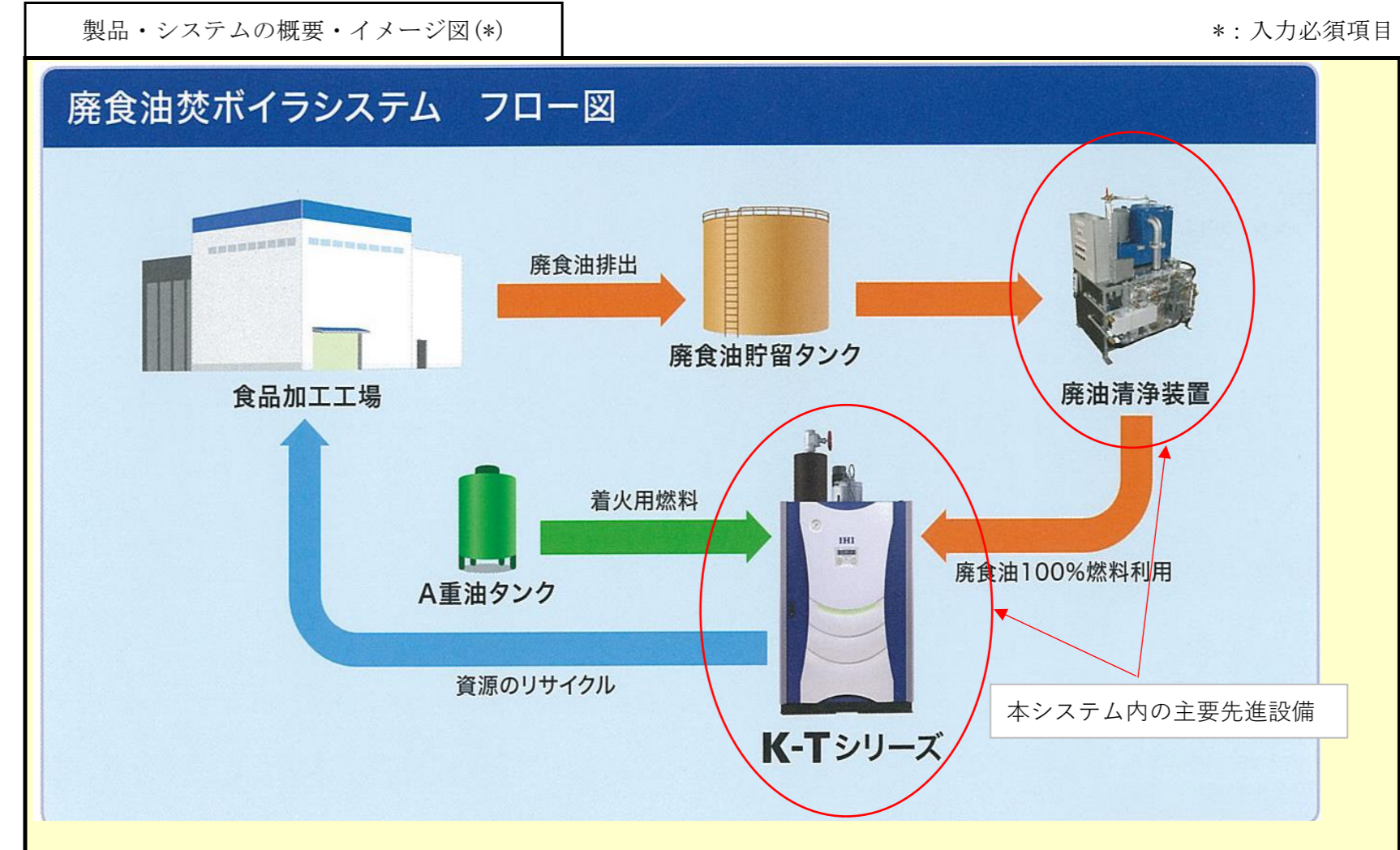
本ボイラシステムの主設備である廃食油焚ボイラは、従来の油焚小型貫流ボイラでは100%専焼が不可能であった重質動植物油を、独自のバーナを使用することにより100%専焼で油焚小型貫流ボイラの燃料として利用することが可能となりました。従来は飼料用等としてリサイクル、または廃棄されていた食品製造工場等で排出される重質動植物油ですが、本システムを導入することにより油焚小型貫流ボイラの専焼燃料として利用することが可能となり、既設ボイラの化石燃料使用量を大幅に削減することを実現しました。

※【登録設備情報】1工場・事業場当たりの想定省エネ率に記載の想定省エネ率ですが、ボイラ使用状況を下記条件と仮定して本ボイラシステムを増設した際の年間燃料消費量(発熱量ベース)で見た想定省エネ率となります。

・計算条件
【既存ボイラ設備における蒸気負荷(使用量):仮定】
換算蒸発量:2t/h / 燃料:A重油 / 台数:2台 / 10時間/日・300日/年稼働 / 蒸気平均負荷率:60%
【未利用重質動植物油の排出量:仮定】
600t/日 / 300日/年稼働
※1台又は1式当たりの想定導入価格(参考)に記載の価格ですが、本ボイラシステム内の主要先進設備であるボイラ本体及び廃油清浄装置の導入価格(推定)となります。

先進性についての説明(*)

本ボイラシステムの廃食油焚ボイラに採用した独自バーナにより、重質動植物油とコンプレッサーの高圧エアーを同時に噴霧することで高引火点且つ高粘度の重質動植物油を燃焼可能レベルまで細分化することが可能です。さらに、独自改良を加えた高速遠心分離機を使用した洗浄装置を採用することにより、重質動植物油に混入した残渣物の分離性能を向上させ、システムの安定運用を実現しました。これにより、従来は大型ボイラ設備等を保有する企業でしかボイラ用燃料として利活用できませんでしたが、中小規模の企業においてもメリットが得られるシステムとなっています。



導入事例の概要・イメージ図(*)

業種・分野	食品製造業	対象設備・プロセス	蒸気ボイラ
【導入イメージ図】 導入実績が無い為、未記入。 ※但し実証実験実施済み。			
【ご参考】 本システム販売開始に関するプレスリリース内容 https://www.ihl.co.jp/ihl/all_news/2019/industrial_general_machine/1190462_1593.html			
導入事例の省エネ率	%	導入事例の省エネ量	k1